

高校生が調査した久米島の防災のこと

久米島まむいん新聞

2025
March 3久米島高校2年
島 袋 いつ葉
中 岡 聡 海
玉 城 沙 久 来

はじめに

こんにちは！久米島高校2年の島袋いつ葉、中岡聡海、玉城沙久来です！私たちは総合的な探求の時間という授業で「まちづくりプロジェクト」に取り組んできました。「まちづくりプロジェクト」とは、各グループ毎に興味を持った久米島町の課題について約1年間の調査を行い、まちづくりプロジェクト発表会でその成果を発表するプロジェクトです。私たちは久米島町の「防災」をテーマとし、この1年間久米高生へ向けたアン

ケートや久米島町複合型防災・地域交流センター「ほんのもり」へインタビューなどを行いました。調査の結果から私たちは久米島町民の防災意識に焦点を当て、これからの活動として、久米島町の防災についての啓発活動を行ってこうと考えました。その啓発活動の一環として、「広報くめじま」での防災新聞の掲載を実現することができました。私たちが調査した中で「久米島の防災について知らなかったこと」「久米島の高校生が防災についてどう考えているのか」などをまとめたので、ぜひ読んでみてください！

久米高生にアンケート！

久米島高校生向け、防災に関する意識調査・知識調査を目的としたアンケートを実施しました！128名の生徒から回答を得ることができ、以下のことがわかりました。

Q、災害の際自身が避難する場所を知っていますか

はい 69% いいえ 31%

Q、2024年4月3日の津波警報の際は避難しましたか

はい 64% いいえ 36%

Q、自宅に防災バックはありますか

はい 10% いいえ 90%

Q、家庭で災害時の行動について話し合いをしていますか

はい 44% いいえ 56%

結果を通してわかったこと

自身が避難する場所を知っている人は**実際に避難できている**為、災害が発生→避難という認識は身につけている防災バックを持つ人や家庭内で話し合いをしている人は少なく**減災の意識**が低いのではないかと？

久米島まむいんって？

「まむいん」は沖縄の方言で「守る」という意味があり、私たちの行う啓発活動が町民の意識向上につながり、久米島町民を守ることにもつながってほしいという思いから「久米島まむいん」と名づけました。

ほんのもりへインタビュー！

ほんのもり、久米島町総務課より、**ほんのもりの設備説明・久米島の防災について**などを教えていただきました。

■備蓄倉庫について

一番印象的だった備蓄倉庫には、食料品はもちろん、発電機や簡易トイレ、プライバシー保護のパーテーションなど、色々な物がありました。存在は知っていましたが、実際に目にしたことはなかったので**備蓄について知ることの重要性**を改めて認識することができました。

■非常食について

備蓄される非常食は地震などの災害時に使用するものだと思っていましたが、台風や水不足の時にも使用されることがあると聞き驚きました。非常食は**高齢の方や、幼い子ども、アレルギーを持つ方など様々な人に対応したもの**が置かれていました。

【賞味期限】非常食は7年ほど持つそうで、それに加え毎

年1,200食を買い足し積み上げることで備蓄を増やしていることも知りました。賞味期限切れ間近の非常食は防災イベントや避難訓練の際に有効活用しているそうです。今回、賞味期限切れ間近の非常食アレルギーフリーカレーライスをいただき、2年Bクラスで試食会を実施しました。介護食や離乳食にもなる非常食のため、カレーのご飯が柔らかいという意見が多く、柔らかいご飯が苦手な人には向かないのかなと思いました。機会があれば災害時でも柔らかいご飯を美味しく食べられる方法を調査してみたいです。

今回の調査を通し、**行政の行う公助**に頼り切るのではなく、**一人一人が自助・共助の意識を持ち、対策することが減災につながる一歩**だと学びました。

調査にご協力してくださったみなさまありがとうございました！！

今回、高校生が防災について興味をもち、調査結果をまとめています。町民の皆さまも、この調査結果をもとに防災対策について再認識し、自助共助について考えてみませんか。